

平成 29 年度（2017 年度）事業報告

平成 29 年度は、「第 2 次中期計画」（平成 28 年度～30 年度）にもとづき事業を実施しました。

中期計画の数値目標である「会員数 1,420 名」については、新規入会会員数の増加もあり会員は前年度より 58 名増え 1,296 名になりましたが目標には届きませんでした。

もうひとつの数値目標である「契約金額 5 億 6,860 万円」については、派遣事業を推進した結果、5 億 5,613 万 1,642 円と目標契約金額の 97.8%に達しました。

契約金額の内訳をみると、請負契約では公共からの受注が増えたものの、一般家庭および民間企業からの受注が減り、前年度を下回る契約金額となりました。

一方、派遣事業は前年度比 223.6%と大幅に契約金額を伸ばしました。

数値目標を実現するための「会員主体の組織の活性化と機能強化」についても、地域班活動、委員会活動、職能グループ活動などを通じて、取り組みました。

以下、事業計画の項目に沿って実績を報告します。

事業実施状況

1 会員の拡充と質的向上

目標会員数 1,420 名

新規入会会員数は 258 名と前年度に比べ 26 名増加し、年度末の会員数も 58 名増え 1,296 名となりましたが、目標の 1,420 名には達しませんでした。

- (1) 広報委員会が作成したチラシを、市役所本庁舎や行政センターに配架させていただいたり、市内一般家庭に会員が自主的に配布したことで、新規会員の加入増加につながりました。
- (2) 地域班を通じ会員による会員勧誘活動が行われ、24 名の新規会員が入会しました。

- (3) 広報委員会編集による広報紙を年3回発行し、会員に対する連絡事項掲載、会員の投稿掲載、センター行事の報告等の情報提供を行いました。
- (4) 市内を運行する京急バス20台分の車内広告掲出、市内配布のフリーペーパーへ5回の広告出稿、新聞折り込み配布の時刻表への広告掲載を実施しました。
- (5) センターのPRを目的に、「ふれあいフェスティバル」「よこすか産業まつり」「ひくてあまたプロジェクト（生涯現役フォーラム）」「まなびかんまつり」「地域活動シンポジウム」へ参加し、新規会員の加入増加や就業先の拡大につなげました。
- (6) 「第2回演芸フェスティバル」を横須賀・三浦作業所連絡会の協力で開催し、284名の来場者にセンターの活動や地域貢献をPRしました。
- (7) 入会説明会を11回開催し新入会員の増加を促進しました。
- (8) 会員の知識・技術の向上を目的に、「植木剪定（初級・中級）」「除草講習（3回）」「刈払機安全取扱」「チェーンソー安全取扱」「ハウスクリーニング（2回）」「訪問介護研修（2回）」「訪問介護員研修」「男の料理教室（2回）」「普通救命」をテーマとした研修・講習会を開催し、計265名の会員が受講しました。また、高齢者の交通安全講演会を開催し、48名の会員が参加しました。
- (9) 新入会員を対象に「入会研修会」を実施し、就業時の接遇等について研修を行いました。
- (10) 適正就業が履行されていない会員に対して周知徹底を図りました。
- (11) 会員対象の福利厚生サービスとしてポイント制度および会員の表彰を実施しました。
- (12) 女性会員の親睦を深める「女性会員のお茶会（毎月）」を実施し、「クリスマス会」の開催や「シルバーふれあい祭り」の新規立上げなど女性会員の活動が広がりました。また女性の就業について考える「女性会員お仕事プロジェクト」では新たな事業の立ち上げを進めました。

2 契約金額の拡大

目標契約金額 5億6,860万円

前年度に比べ請負事業は減ったものの派遣事業は増加し、5億5,613万1,642円と目標契約金額の97.8%に達しました。また、就業率は72.5%となりました。

- (1) 派遣事業について新たに1事業所からの受注を開拓し、就業実績の増加につなげました。また就業会員数が19名増加しました。
- (2) 従来からの請負就業について、就業開拓委員会を中心に、会員・役員・職員が新たな就業先の開拓を実施しました。
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業について就業実績を拡大しました。
- (4) 前記の広報活動、イベント出展等により就業実績拡大をめざしました。
- (5) 新たな就業先の開拓に向け、訪問介護事業委員会と就業開拓委員会により学童保育でのメニューの紹介およびニーズ調査を行いました。
- (6) 横須賀市が設置した「よこすか地域支え合い協議会」に参加し、総合事業への取り組みについて意見交換しました。

3 会員主体の組織の活性化と機能強化

- (1) 第2次中期計画に基づき、会員を中心に構成される8委員会が課題に取り組みました。また全委員が参加する「委員会大会」を開催し、各委員会が中期計画の進捗状況を発表し委員間の情報を共有しました。
- (2) 職能グループ活動の推進に取り組み、剪定・除草グループは24グループ160名、ハウスクリーニンググループは15名、お片づけグループは20名の会員が就業しました。
- (3) 各地域班では、会員が自主的に会員勧誘や就業機会の拡大に取り組みました。また、親睦活動やボランティア活動にも取り組みました。
- (4) 班長会が中心となり横須賀・三浦作業所連絡会の協力を得て「第2回演芸フェスティバル」を開催しました。14組114名が出演し、284名が来場し、センターのPRと会員間の親睦を深めるイベントとなりました。
- (5) 班長会による親睦歩こう会には44名の会員が参加しました。

4 会員の安全就業の推進と健康の維持向上

- (1) 「安全就労推進計画」を策定しました。
- (2) 7月・8月に地域安全対策推進員巡回パトロールを6日間実施し、42カ所を巡回しました。
- (3) 会員に対し、作業時の安全対策の徹底を文書で周知しました。
- (4) 会員に対する健康診断の奨励として費用の一部を補助し、34名の会員が受診しました。
- (5) 安全標語の募集を行い、25名の会員から80点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞4点を選考し、広報紙に掲載するとともに、事務所に掲示しました。
- (6) 安全パトロール員による巡回パトロールを実施し、5月から12月の期間に280か所の就業場所をパトロールした結果、ヘルメット装着率は93%となりました。
- (7) 「安全就業基準」を新入会員に配付しました。
- (8) 安全就業促進のためヘルメットと安全帯の購入補助を行いました。
- (9) 高齢者の交通安全講演会を開催し64名の会員が参加しました。

5 地域への貢献

- (1) 活力、生きがい増進の促進として市内高齢者を対象としたゲートボール大会およびボウリング大会の開催に協賛しました。
- (2) 地域班活動として、11地域班は清掃活動、通学路の安全パトロール、資源物の収集等のボランティア活動を行ったほか、日帰りバス旅行などの親睦活動を行いました。
- (3) 第2回演芸フェスティバルを開催し、多くの市民に来場いただいたほか、横須賀・三浦作業所連絡会による出演および会場内での販売を行いました。